

## 5 地域重点政策ユニット

地域重点政策ユニットは、主な施策の展開方向に基づいて、重点的に取り組むプロジェクトです。

地域重点政策ユニットのプロジェクト名称	推進エリア
1 魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト	道北連携地域
2 安全・安心な地域づくりプロジェクト	道北連携地域
3 新エネルギー <sup>*</sup> 導入・活用推進プロジェクト	道北連携地域
4 ロシア極東との交流推進プロジェクト	道北連携地域
5 天塩川ブランド力向上プロジェクト	道北連携地域
6 上川の地域産業を支える担い手育成・確保プロジェクト	上川地域
7 上川地域の強みを活かした農林業振興プロジェクト	上川地域
8 人と自然をつなぐ大雪山魅力発信プロジェクト	上川地域
9 るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト	留萌地域
10 るもい地域を支える多様な人材の育成・確保プロジェクト	留萌地域
11 活力ある宗谷の1次産業推進プロジェクト	宗谷地域
12 人と自然が共生する地・宗谷創造プロジェクト	宗谷地域
13 地域の多様な人材が未来を創る「宗谷L I F E」プロジェクト	宗谷地域

# 魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト

【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

【主な実施主体】国・道・市町村・民間

## 目的

天塩川や大雪山、日本海オロロンライン、利尻礼文サロベツ国立公園をはじめとした特色ある自然、高品質ブランド米や多種多様な野菜、果樹、豊富な海産物や乳製品などの食、歴史や写真、絵本などの芸術文化等を活かした地域の魅力発信、広域周遊や体験・滞在型観光等を推進するほか、スポーツ・音楽の合宿の誘致などを通じて、道北地域への来訪促進を図ります。

## 施策展開

- 【施策】
- 特色ある自然や歴史、芸術文化をテーマとした地域の魅力発信
  - 空港運営の一括民間委託を契機とした航空ネットワークの充実・強化
  - 「食」や「食文化」をテーマとしたフードツーリズム<sup>※</sup>の推進
  - 広域周遊観光や体験・滞在型観光等の推進
  - 離島観光の推進
  - 地域の気候風土や街並みなどを活かしたスポーツや音楽合宿の誘致

### 〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI<sup>※</sup>）〉

○観光入込客数	2,260万人（R1）	→	2,504万人（R7）
[内訳]			
観光入込客数（上川）	1,904万人（R1）	→	2,110万人（R7）
観光入込客数（留萌）	147万人（R1）	→	163万人（R7）
観光入込客数（宗谷）	209万人（R1）	→	231万人（R7）

＜施策毎の主な取組方向＞

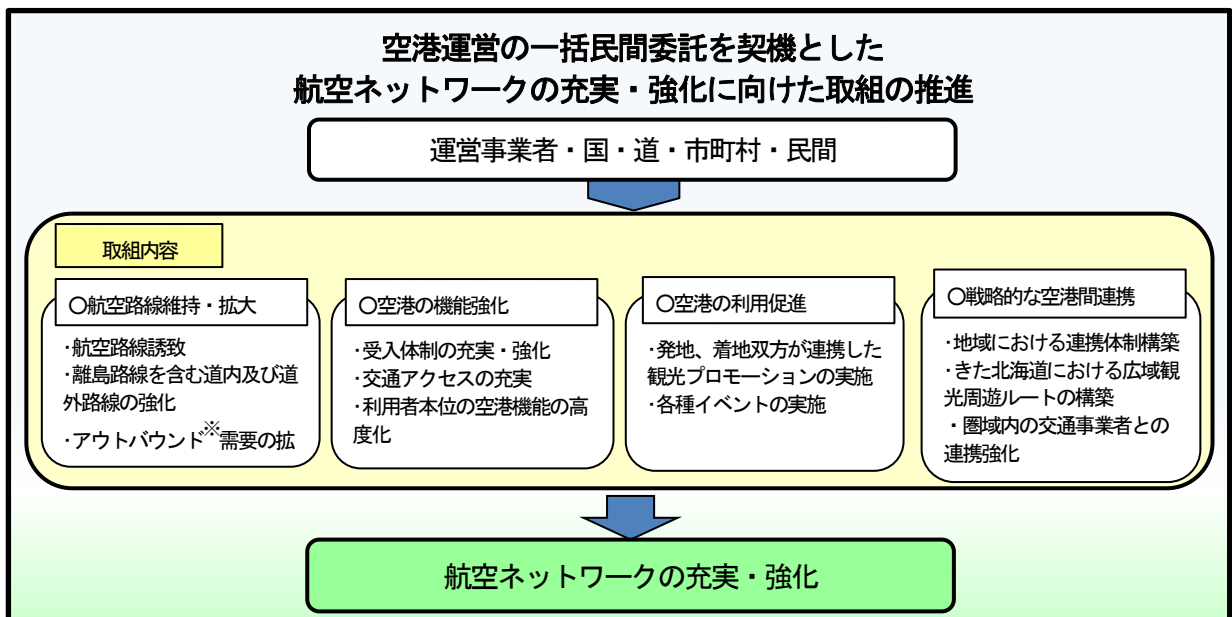
■ 特色ある自然や歴史、芸術文化をテーマとした地域の魅力発信

- 特色ある自然や地域特有の歴史・風土、芸術文化に関する国内外への情報発信
- 自然や芸術文化等をテーマとしたイベントの実施や国内外との交流の推進
- 自然環境・歴史文化の保全や芸術文化の振興



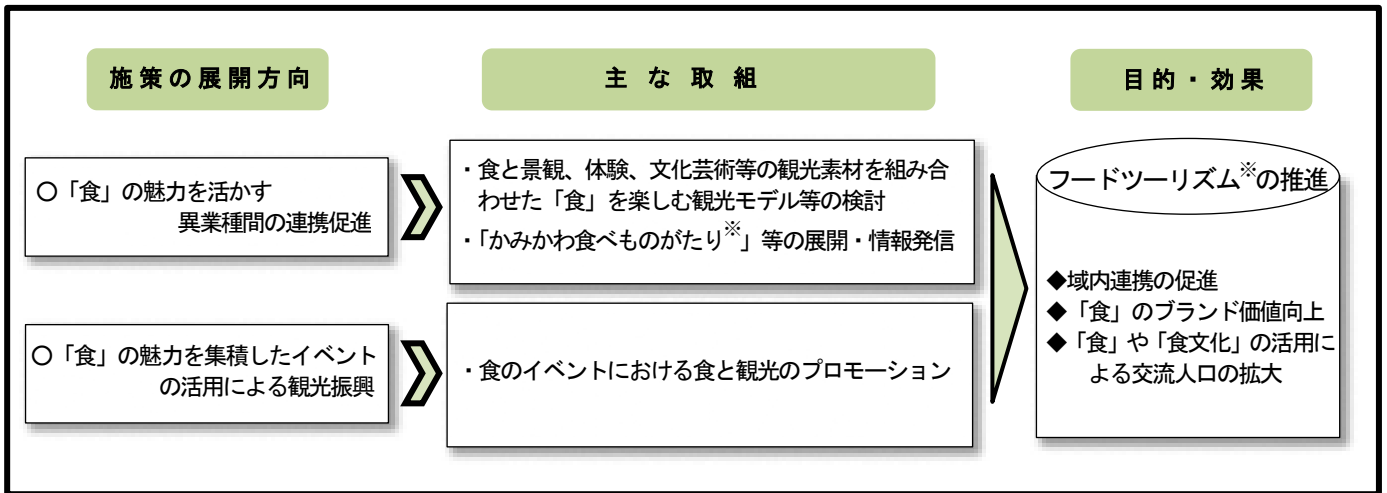
■ 空港運営の一括民間委託を契機とした航空ネットワークの充実・強化

- 離島路線を含む航空路線維持・拡大に向けた取組の推進
- 空港の機能向上に向けた取組の推進
- 空港の利用促進に向けた取組の推進
- 戦略的な空港間連携に向けた取組の推進



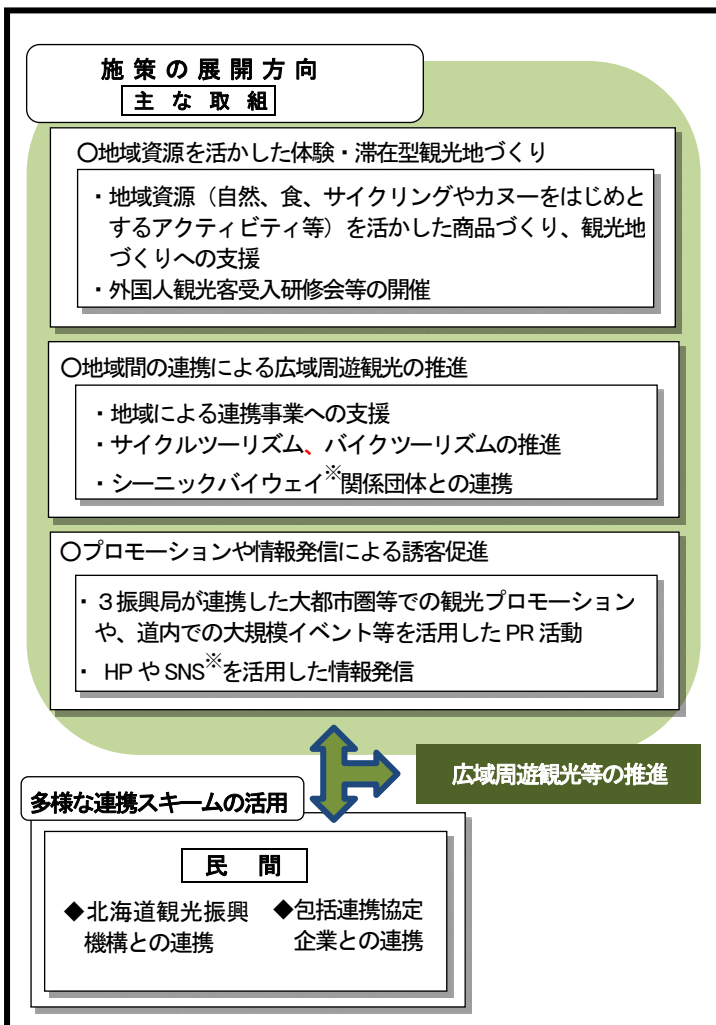
■ 「食」や「食文化」をテーマとしたフードツーリズムの推進

- 「食」の魅力を活かす生産者、観光事業者、ホテル・飲食店等の連携促進
- 道北地域の「食」の魅力を集積したイベントの活用による観光振興



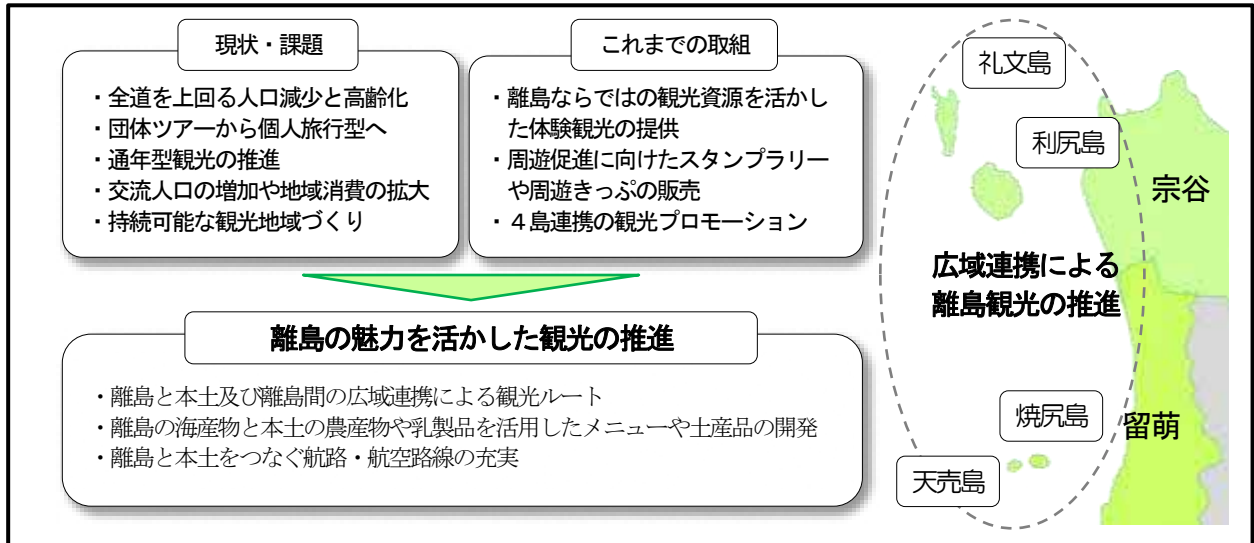
■ 広域周遊観光や体験・滞在型観光等の推進

- 体験観光メニューの開発や受入体制の整備等による観光地づくり
- 地域間の連携による広域周遊観光の推進
- 3振興局の共同プロモーション及び情報発信による誘客促進



## ■ 離島観光の推進

○離島の魅力を活かした観光の推進



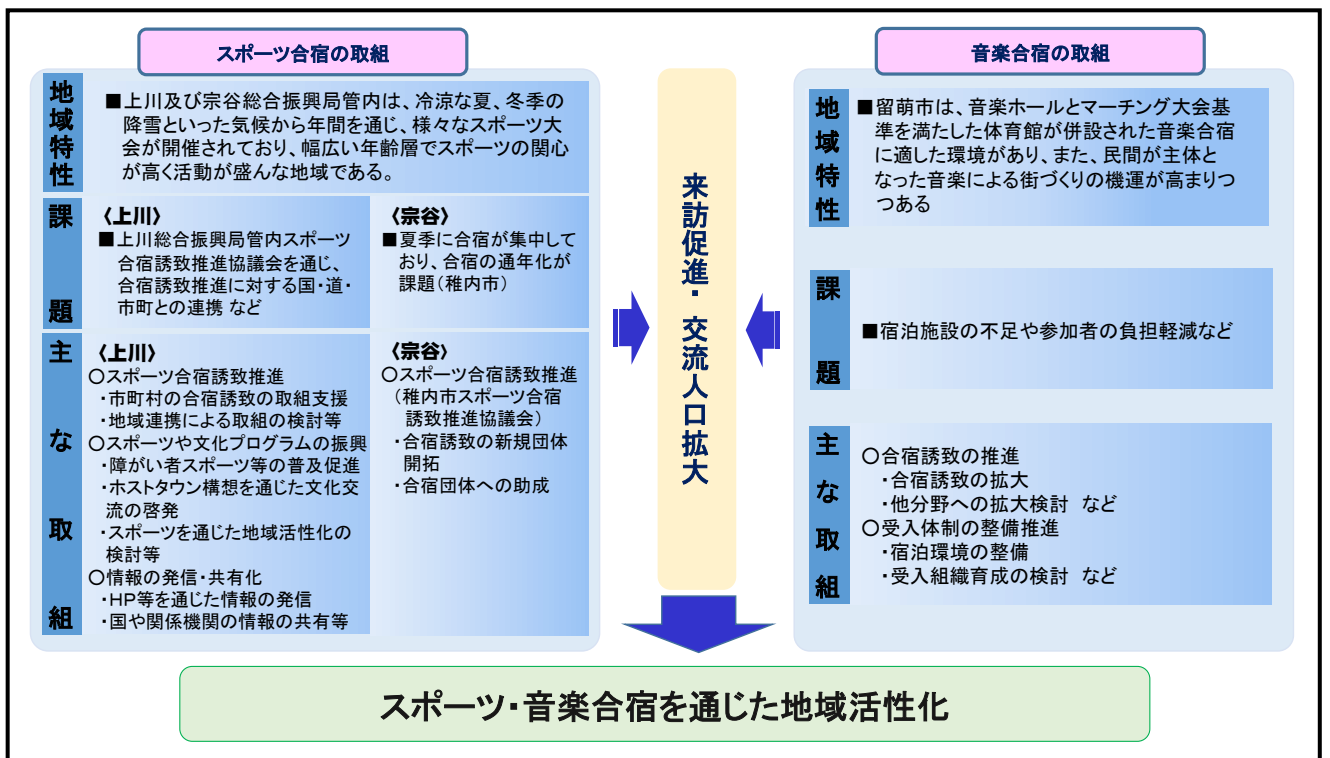
## ■ 地域の気候風土や街並みなどを活かしたスポーツや音楽合宿の誘致

○スポーツ及び音楽の合宿誘致

○スポーツや文化プログラムの振興

○情報の発信・共有化

○受入体制の整備推進



## 関連する主な基盤整備

- 高規格道路の整備
  - ・高規格道路※の整備促進
- 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備
  - ・観光拠点へのアクセス道路の整備
  - ・航空機の安定運行確保など、空港機能維持のための施設整備
- 都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備
  - ・都市の円滑な交通を確保するためのバイパス、環状・放射道路の整備
  - ・渋滞解消や市街地の一体化のための立体交差などの整備

## 関連するSDGsの目標



# 安全・安心な地域づくりプロジェクト

【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

【主な実施主体】国、道、市町村、民間

## 目 的

少子高齢化が進むなか、広大で離島も有する道北地域において、心身ともにすこやかに活力ある生活を送るためには、病気の予防・生活習慣の改善など自らの健康の保持・増進が重要であるとともに、地方・地域センター病院<sup>※</sup>を中心に地域における医療機関が機能分担と連携を図り、地域に必要な医療体制を確保し、救急医療体制を充実することが求められています。

また、安心して子どもを産み育て、高齢者を含めた誰もが住み慣れた街で元気に暮らせることが必要とされています。

こうしたことから、地域住民が健康で安心して暮らせるよう、地域の連携による医療体制の確保や地域包括ケアシステム<sup>※</sup>の推進を図るとともに、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりのための子育て支援施策の充実に努めます。

また、近年の激甚化する自然災害等に対する防災対策として、市町村への情報提供や研修会の開催による自主防災組織<sup>※</sup>の充実、防災関係機関の連携強化による地域防災力の向上など、地域住民が安心して暮らせるよう、防災・減災の取組を進めていきます。

施策展開

- 【施策】 ■ 全ての世代が安心して暮らせる環境づくり  
 ■ 災害（地震、津波、大雨、火山等）に対する防災体制の強化等

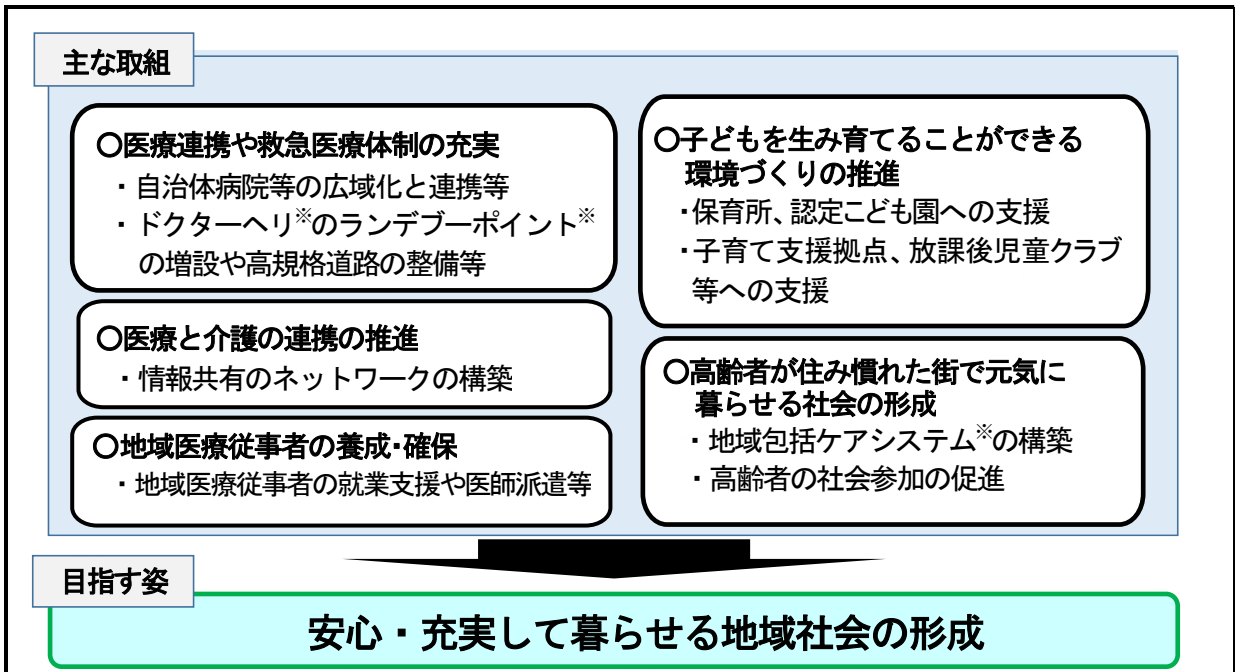
〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI<sup>※</sup>）〉

○認定こども園設置数	40カ所（R1）	→	64カ所（R6）
〔内訳〕 上川	33カ所（R1）	→	54カ所（R6）
留萌	4カ所（R1）	→	5カ所（R6）
宗谷	3カ所（R1）	→	5カ所（R6）
○自主防災組織活動カバー率	52.9%（R2）	→	84.3%（R7）
〔内訳〕 上川	55.3%（R2）	→	84.3%（R7）
留萌	45.3%（R2）	→	84.3%（R7）
宗谷	39.9%（R2）	→	84.3%（R7）

＜施策毎の主な取組方向＞

■ 全ての世代が安心して暮らせる環境づくり

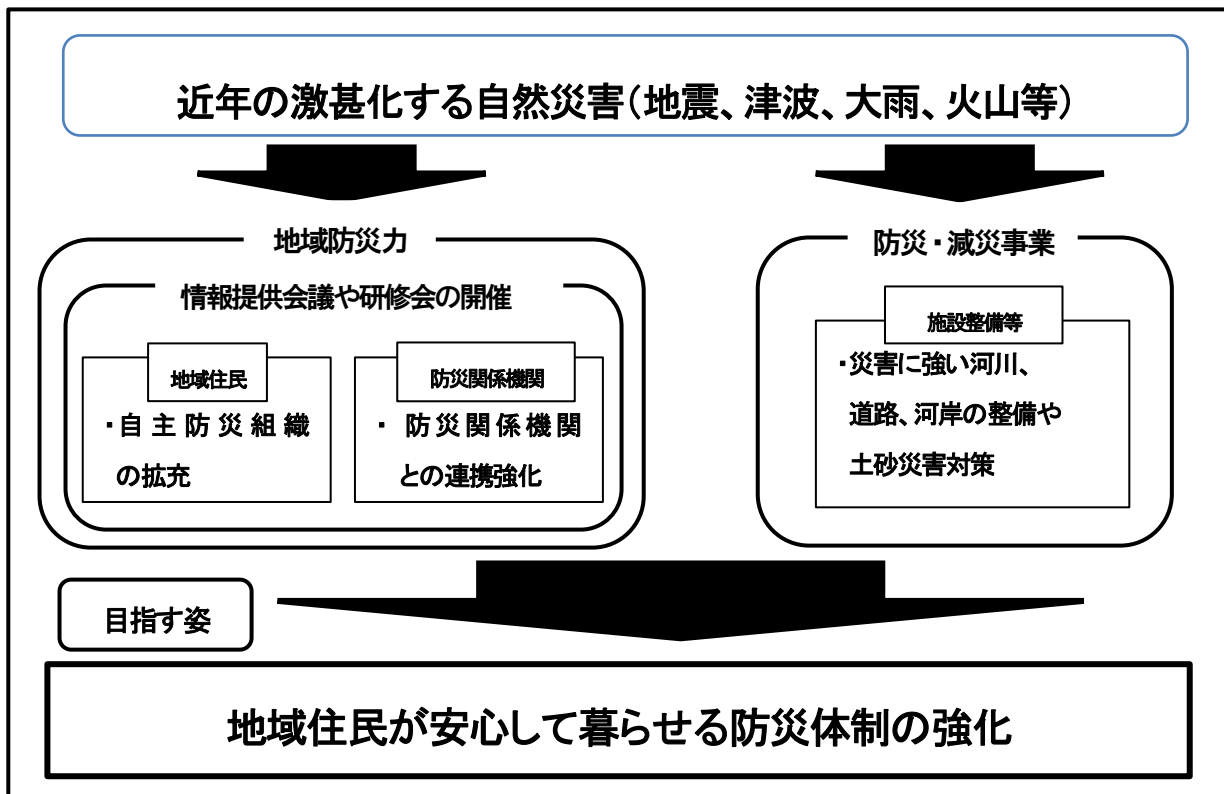
- 医療連携や救急医療体制の充実
- 医療と介護の連携の推進
- 地域医療従事者等の養成・確保
- 子どもを生き育てることができる環境づくりの推進
- 高齢者が住み慣れた街で元気に暮らせる社会の形成





■ 災害（地震、津波、大雨、火山等）に対する防災体制の強化等

- 自主防災組織活動カバー率向上への取組
- 防災関係機関との連携強化



関連する主な基盤整備

- 高規格道路の整備
  - ・高規格道路<sup>\*</sup>の整備促進
- 安全で安心な道路交通環境の整備
  - ・幹線道路や通学路等における交通安全対策の推進
  - ・地域医療を支える交通ネットワークの整備
- 冬期における安全で快適な道路交通の確保
  - ・冬期を踏まえた歩行空間の確保のための広幅員歩道の整備推進
  - ・地吹雪・雪崩対策など冬に強い道路の整備
- 災害に備えた安全な道路交通環境の整備
  - ・避難路や緊急輸送道路、危険箇所の防災対策などの整備
- 洪水や土砂災害、火山噴火や大規模地震、津波などに備えた安全性の高い災害防止施設の整備
  - ・火山砂防施設や、土砂災害対策施設の整備
  - ・総合的な治水・利水対策の推進
  - ・火山噴火緊急減災対策砂防の推進
  - ・海岸の高潮・浸食・津波対策施設などの整備

関連するSDGsの目標



# 新エネルギー導入・活用推進プロジェクト

【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

【主な実施主体】国、道、市町村、民間

## 目 的

道北地域には、風力、太陽光やバイオマス<sup>\*</sup>、中小水力、地熱のほか、積雪寒冷な気候を活かした雪氷冷熱<sup>\*</sup>など、多様な新エネルギー<sup>\*</sup>資源が豊富に存在しています。留萌、宗谷地域では、恵まれた風況を活かした風力発電の開発が進められており、両地域で全道の風力発電設備容量<sup>\*</sup>の35%以上を占めています。また、稚内市のメガソーラー発電施設の公共的な活用の取組や、上川町の地熱発電<sup>\*</sup>計画、上川管内各地の木質バイオマス<sup>\*</sup>エネルギーを活用した取組など、脱炭素型の地域づくりを見据え、各地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消の取組が進められています。

しかし、新エネルギーの導入、活用を加速化させるには、採算性や法規制のほか、地域社会の理解や協力、送電網の容量など、解決しなければならない課題も多くあります。

こうしたことから、連携地域を構成する上川、留萌、宗谷の各地域における新エネルギーの導入ノウハウや効果などについて情報共有を図るとともに、各地域の自然や産業に根ざした新エネルギーなどについて、導入に向けた活動の促進や活用の推進を図ります。

## 施策展開

- 【施策】
- 地域が連携した新エネルギー導入促進の取組
  - 自然に根ざしたエネルギーの地産地消に向けた取組
  - 木質バイオマスの安定供給やエネルギー利用の推進
  - 地熱発電の導入に向けた取組支援
  - 農村地域における新エネルギーの導入・利用拡大の推進
  - 中小水力発電<sup>\*</sup>施設の導入支援

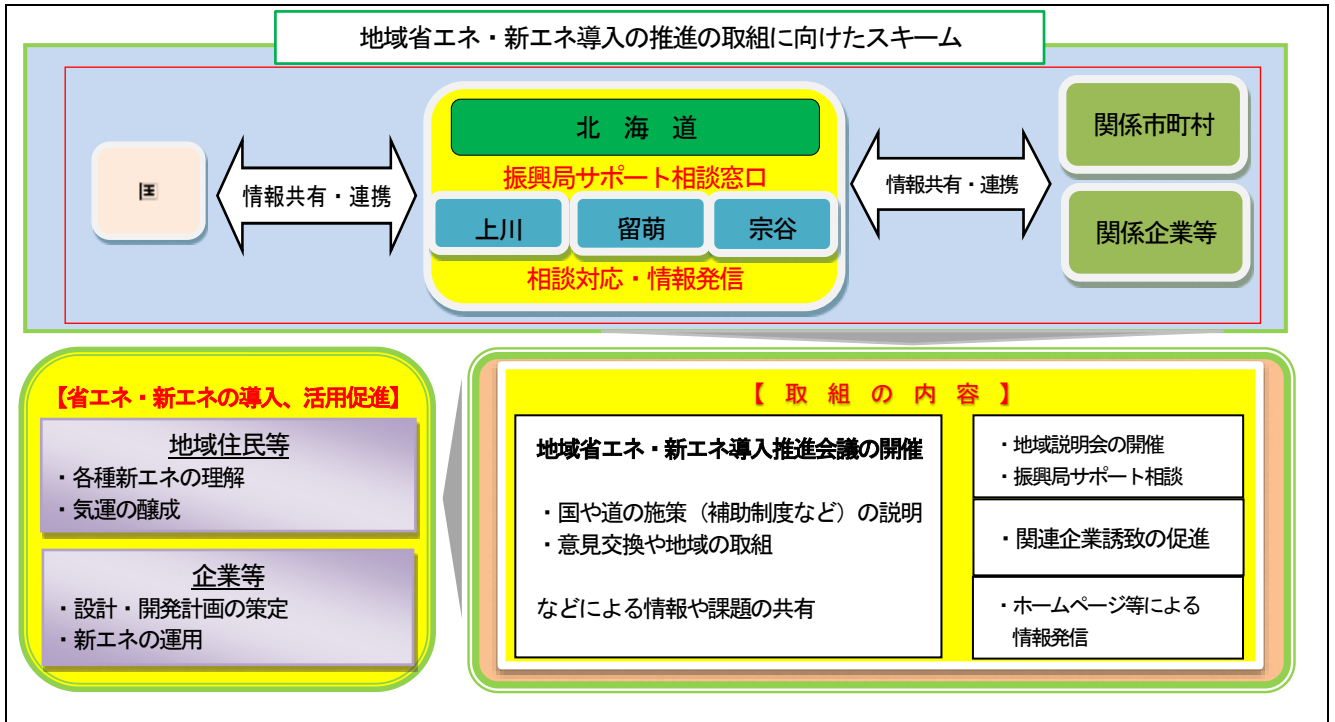
### 〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI<sup>\*</sup>）〉

○新エネルギーに関するサポート件数	18件（R2）	→	36件（R7）
〔内訳〕 上川	8件（R2）	→	16件（R7）
留萌	3件（R2）	→	6件（R7）
宗谷	7件（R2）	→	14件（R7）
○上川地域の木材・木製品出荷額	20,834百万円（H30）	→	23,760百万円（R6）

<施策毎の主な取組方向>

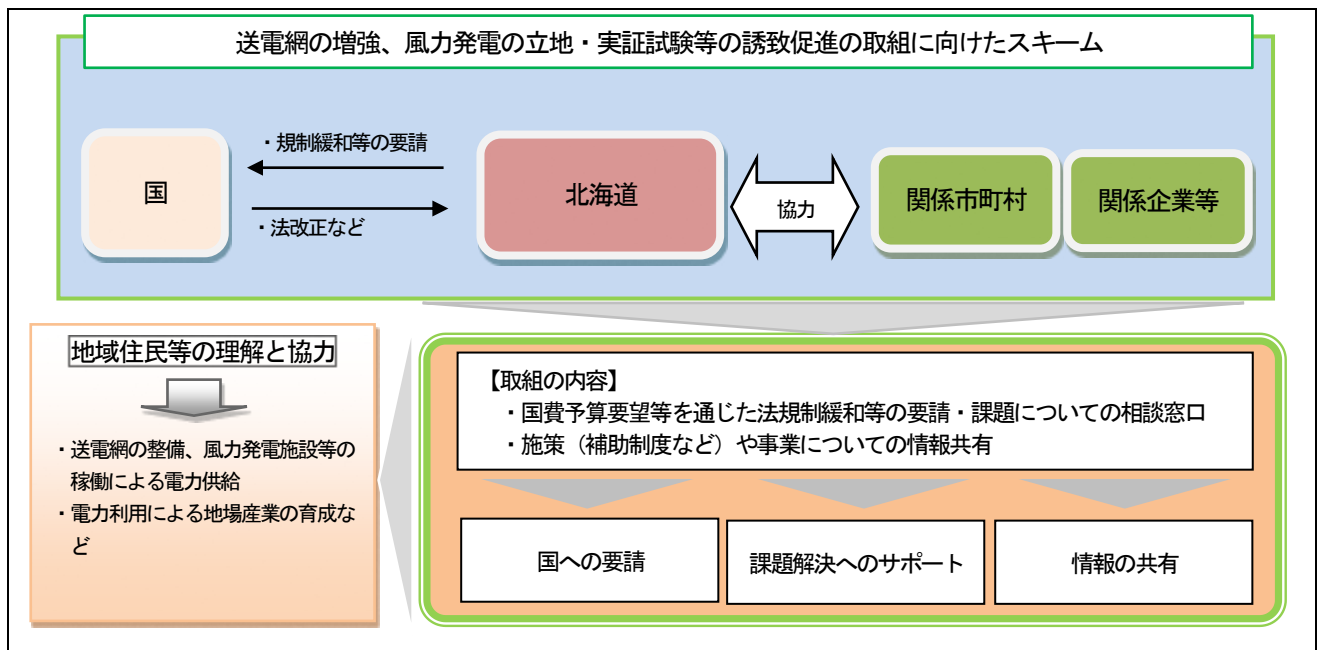
■ 地域が連携した新エネルギー<sup>\*</sup>導入促進の取組

- 政策課題の発掘・整理や情報の共有
- 新エネルギー<sup>\*</sup>の周知・PR



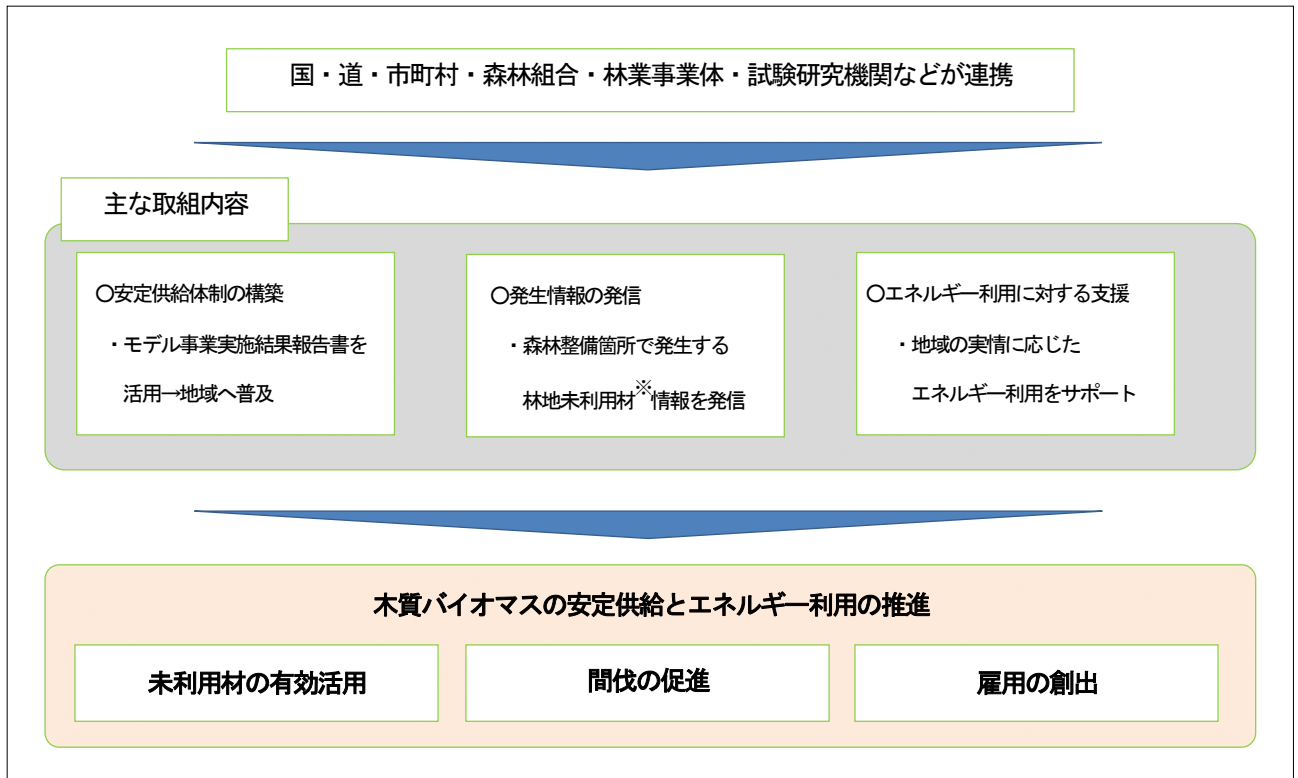
■ 自然に根ざしたエネルギーの地産地消に向けた取組

- 風力発電・太陽光発電など新エネルギーの取組の促進



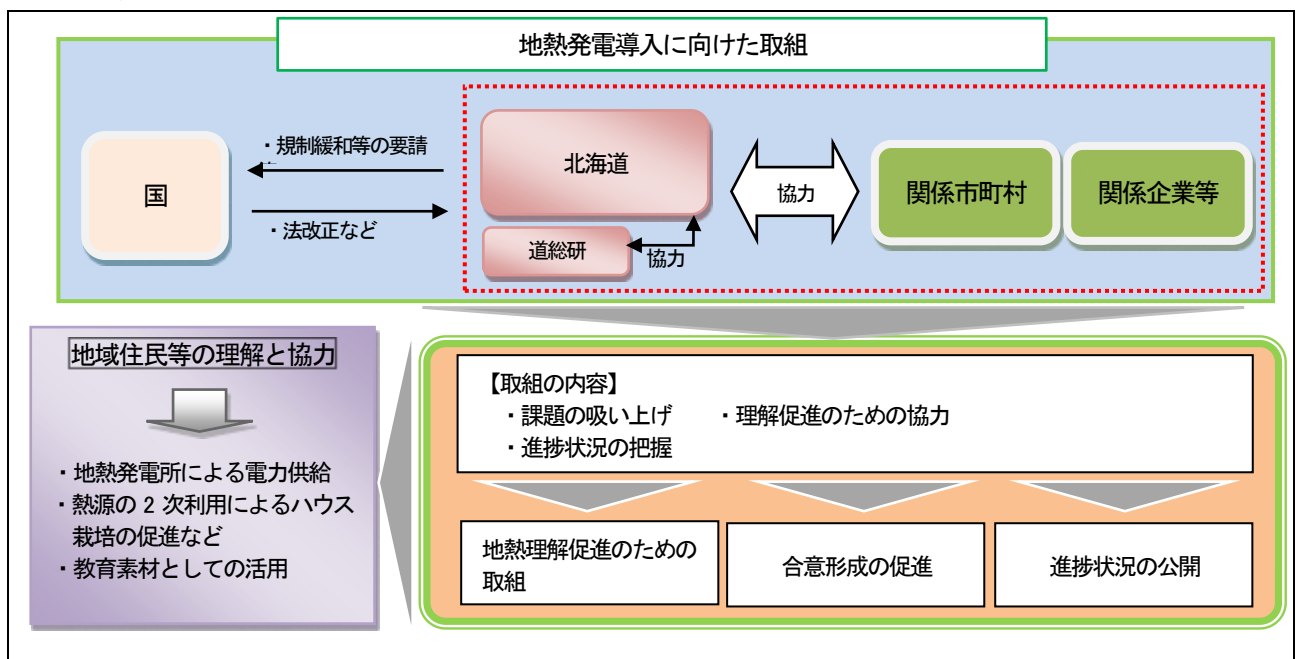
■ 木質バイオマスの安定供給やエネルギー利用の推進

- 地域関係者が連携した木質バイオマス※安定供給体制の構築
- 木質バイオマスの発生情報の発信
- 木質バイオマスのエネルギー利用に対する支援



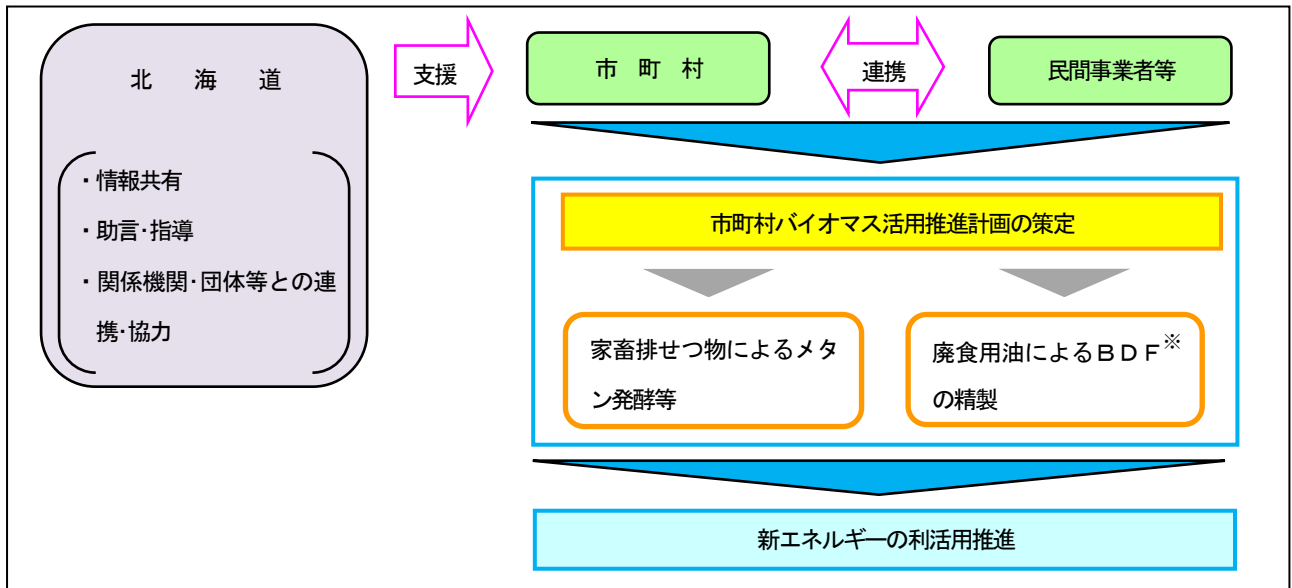
■ 地熱発電※の導入に向けた取組支援

- 法規制等の課題解決に向けた関係機関への働きかけ
- 地域の合意形成の推進



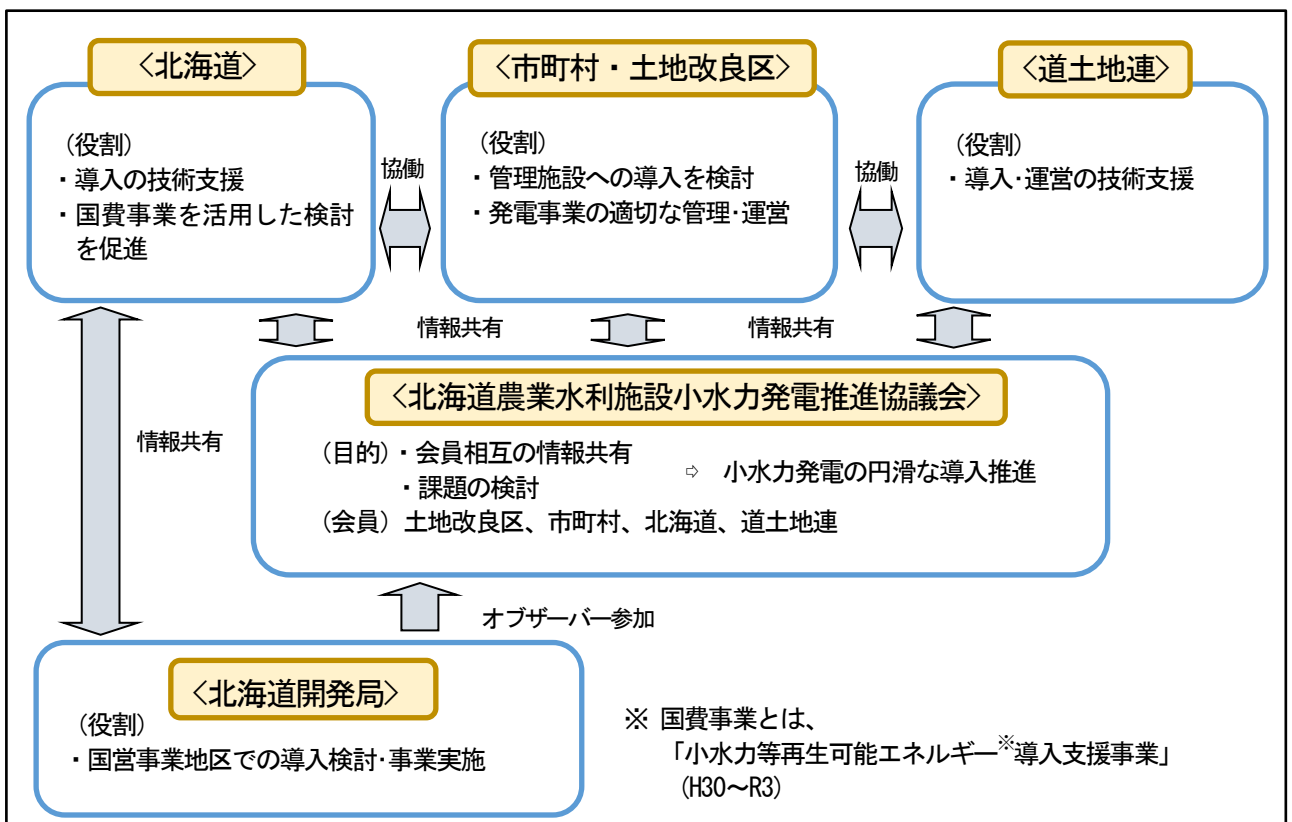
■ 農村地域における新エネルギー<sup>※</sup>の導入・利用拡大の推進

○農村地域におけるバイオマス<sup>※</sup>利用拡大



■ 中小水力発電<sup>※</sup>施設の導入支援

○中小水力発電施設の導入に係る各種事業制度の活用支援



関連する主な基盤整備

○新エネルギーの開発・活用促進と送電網の整備促進

関連するSDGsの目標



# ロシア極東との交流推進プロジェクト

【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

【主な実施主体】国・道・市町村・民間

## 目的

道北連携地域は、宗谷海峡を隔てて国境を接し、歴史的にもつながりが深いロシア連邦サハリン州を始め、ロシア極東地域と地理的に近い位置にあり、これまでも文化、スポーツ、観光などの分野において市町村や民間団体などによる友好交流が行われています。

また、近年は道北地域が連携し、ビジネスマッチングのためのサハリンのバイヤーの招へいや「ユジノサハリンスク道北物産展」を開催するなど経済交流の取組を進めています。

道北連携地域では、グローバル化の潮流を捉え、人口減少に伴う域内需要の減少に対応するためにも、これまで築いてきた友好関係や地理的優位性を活かしたロシア極東地域との経済交流をより一層推進し、地域経済の活性化を図ります。

## 施策展開

- 【施策】 ■ サハリン州等との友好交流の推進  
■ ロシア極東との物流の活性化など経済交流の推進

〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI<sup>※</sup>）〉

○北海道からロシアへの道産食品の輸出額

454 百万円 (R1) → 726 百万円 (R7)

〈施策毎の主な取組方向〉

### ■ サハリン州等との友好交流の推進

- 姉妹都市との交流事業の実施
- 文化・スポーツ交流事業の実施

#### 道北地域の特徴

○道北地域とサハリン州は、地理的近接性や歴史的な経緯から様々な交流を実施。

#### 主な取組

- オンライン等も活用した青少年や職員の交流
- 文化・スポーツ交流の実施

#### めざす姿

- 多文化共生や国際理解の促進
- 交流人口の拡大

#### 交流自治体

道 北：稚内市、猿払村、天塩町、旭川市、名寄市、剣淵町、東川町

サハリン州：ユジノサハリンスク市、ネベリンスク市、コルサコフ市、オジョールスキ村、トマリ市、ドーリンスク市、アニワ市

## ■ ロシア極東との物流の活性化など経済交流の推進

- 道産品の販路拡大に向けた取組の実施
- ロシア極東地域への道北地域の魅力発信

◇ サハリンをはじめとした  
ロシア極東地域への道北産品の輸出  
(サハリンで開催される物産展の活用等)

◆ ホームページ、ガイドブックなど観光ツール  
を活用した道北地域の魅力発信

○道北産品の海外輸出の促進 ○稚内港や留萌港の活用 ○観光客増による関連産業の振興

### 関連する主な基盤整備

- 物流ネットワーク形成のための道路網の整備
  - ・空港・港湾などの物流拠点へのアクセス道路の整備
- 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備
  - ・外国人のための外国語標記の案内板などの整備

### 関連するSDGsの目標



# 天塩川ブランドカ向上プロジェクト

【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

【主な実施主体】国、道、市町村、民間

## 目 的

天塩川周辺地域は、天塩岳にはじまり音威子府溪谷などを経て、河口域に広がるサロベツ原野に至る豊かな自然や美しい景観があります。

天塩川は、幕末の探検家「松浦武四郎」による「北海道」命名の地とされ、流域は貴重な野鳥であるオオワシの越冬地やオジロワシの繁殖地などの重要な拠点であるとともに、河口から遡ること約157kmの間に人工の横断工作物が無く、その距離は日本一であることから日本有数のカヌー適地として知られており、平成16年には北海道遺産に選定されています。

この地域では、上流部の豊富な森林資源を活用した林業や、上・中流域の肥沃な農地に支えられた稲作・畑作が営まれ、下流域には大規模な酪農地帯が広がっており、さらに、河口近くでは、サケ・マス漁が盛んに行われているほか、環境変化等で減少したシジミ資源の回復に取り組んでいます。

しかし、こうした様々な魅力ある地域資源があるものの、都市部から離れていることや知名度の低さから、観光客やイベント集客数が低い状況にあり、地域全体で天塩川の恵みを再認識し、そこを基軸とした広域連携の取組を強化し、情報を発信していくことが必要です。

このため、この地域の美しい景観や川の恵みを活かした「食」、「自然豊かな住環境」等を道内外に発信することにより、「天塩川」の価値をさらに高め、天塩川周辺地域の交流・関係人口<sup>\*</sup>の創出・拡大に向けた取組を推進します。



**施策展開**

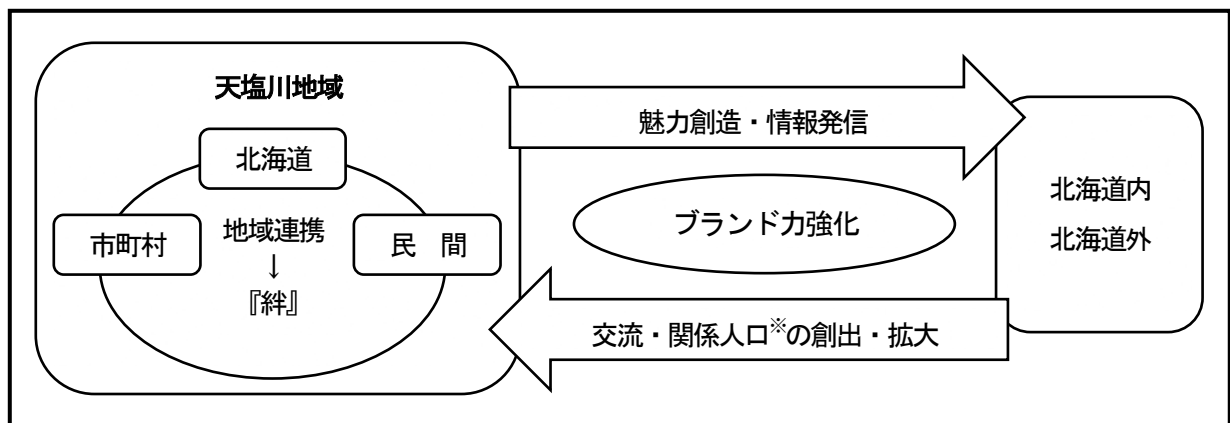
- 【施策】**
- 地域連携による絆の強化
  - 魅力創造・情報発信によるブランド力の強化

〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI※）〉

○地域おこし協力隊※員数（天塩川周辺地域）	54人(R1)	→	78人(R7)
〔内訳〕			
上川	38人(R1)	→	55人(R7)
留萌	5人(R1)	→	7人(R7)
宗谷	11人(R1)	→	16人(R7)
○観光入込客数（天塩川周辺地域）	306万人(R1)	→	340万人(R7)
〔内訳〕			
上川	225万人(R1)	→	250万人(R7)
留萌	44万人(R1)	→	49万人(R7)
宗谷	37万人(R1)	→	41万人(R7)

〈施策毎の主な取組方向〉

- 地域連携による絆の強化
  - 天塩川の恵みの再認識
  - 地域連携の強化
- 魅力創造・情報発信によるブランド力の強化
  - 環境や地域資源を活かした地域づくり
  - SNS※等を活用した情報の発信



### 関連する主な基盤整備

- 高規格道路の整備
  - ・高規格道路<sup>※</sup>の整備促進
- 自然豊かな水辺環境の整備・保全
  - ・良好な水辺環境の保全・創出を推進

### 関連するSDGsの目標



# 上川の地域産業を支える担い手育成・確保プロジェクト

【推進エリア】上川地域

【主な実施主体】国・道・市町村・民間・教育機関

## 目 的

上川地域においても今後、人口減少を迎える中、農林業や商工業など地域経済を支える産業の担い手や後継者の不足が懸念されており、その対策が必要となっています。

このため、上川地域の魅力や産業・雇用などの情報を広く発信し、若年層をはじめとする現役世代の移住・定住を促進するほか、農林業の担い手の育成や確保、地域連携による人材確保等の取組の推進など、今後の人口減少社会を見据えた地域産業の担い手・後継者対策を進めていきます。

## 施策展開

- 【施策】
- 農林業の担い手育成・確保に向けた取組の推進
  - 地域連携による人材確保等の取組の推進
  - 担い手確保に向けた移住の促進及び関係人口<sup>\*</sup>の創出・拡大

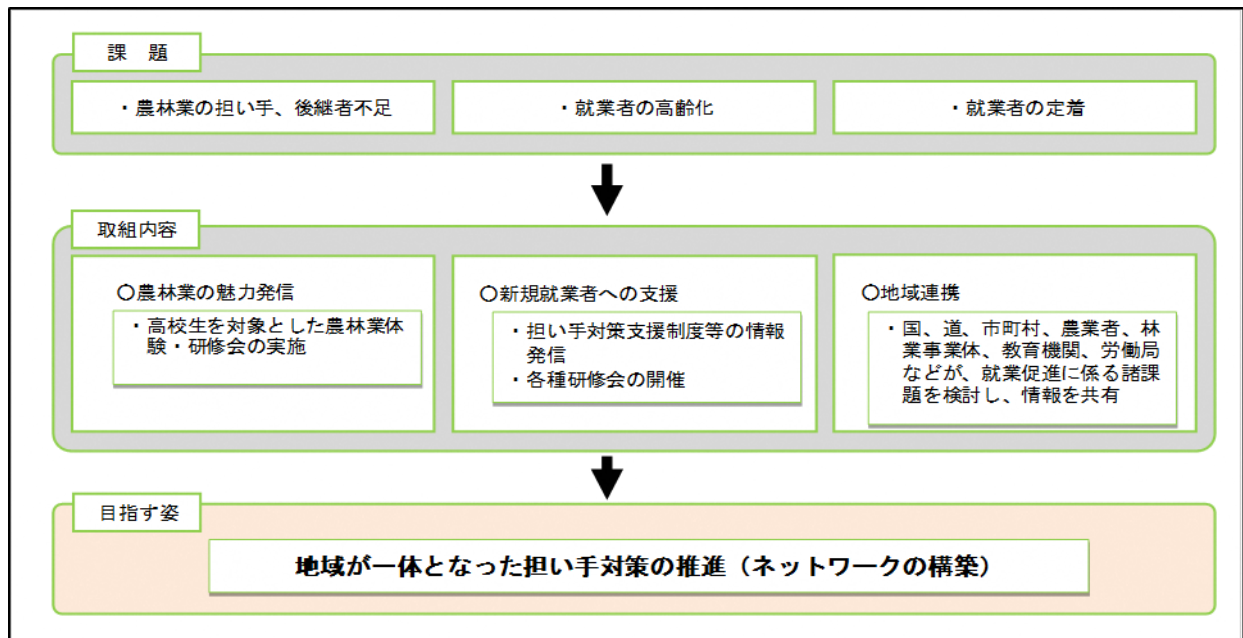
### 〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI<sup>\*</sup>）〉

○地域産業への新規就業者数	農 業	106 人 (R1)	→	123 人 (R6)
	林 業	38 人 (R1)	→	45 人 (R6)
○管内新規高卒者の就職者に占める管内就職の割合	72.2% (R2)	→	75.0% (R7)	
○テレワーク <sup>*</sup> 施設等を利用してワーケーション <sup>*</sup> を行った人数	642 人 (R2)	→	4,494 人 (R7)	

<施策毎の主な取組方向>

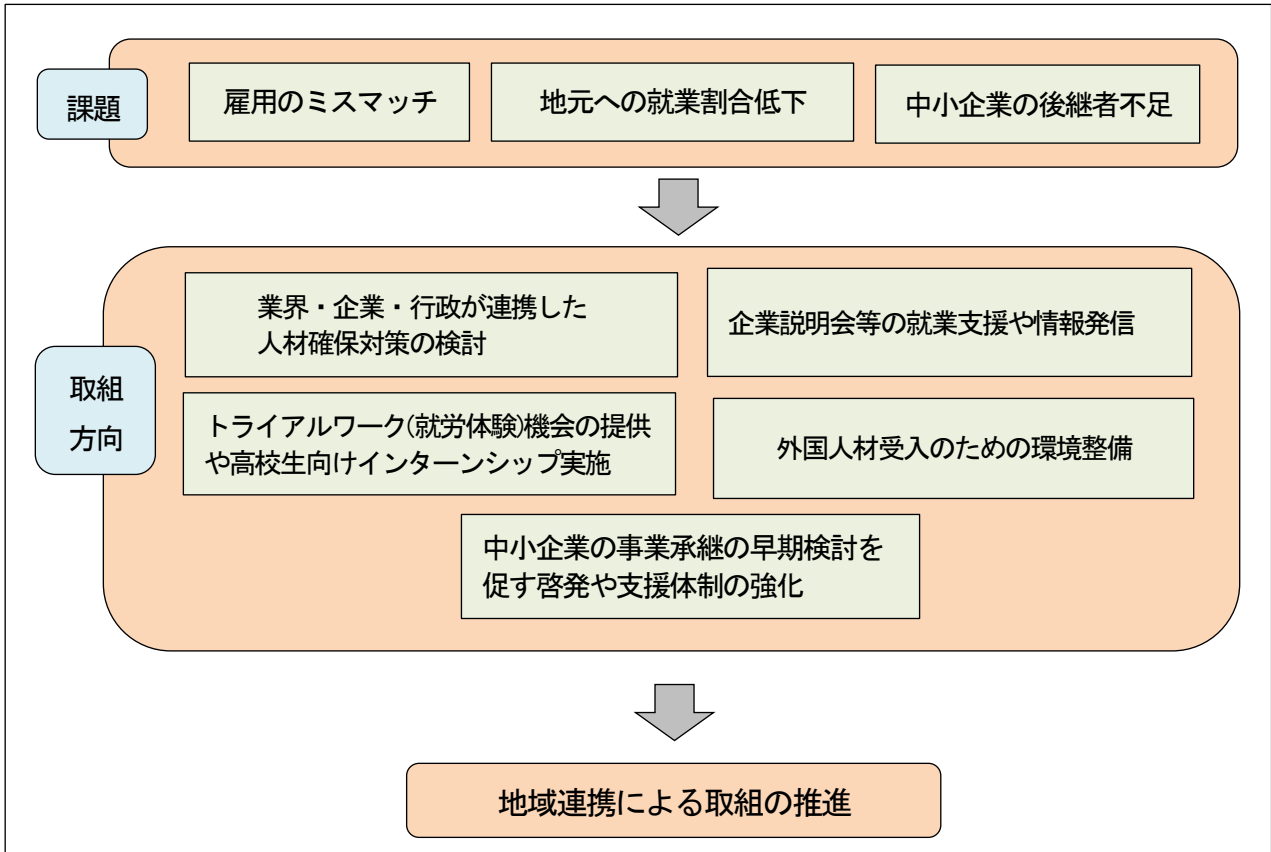
■ 農林業の担い手育成・確保に向けた取組の推進

- 新規就農者等を対象とした研修会の開催
- 高校生を対象とした農業研修や林業学習会の実施
- 「北海道立北の森づくり専門学院<sup>※</sup>」と連携した地域の林業・木材産業を担う人材の育成・確保



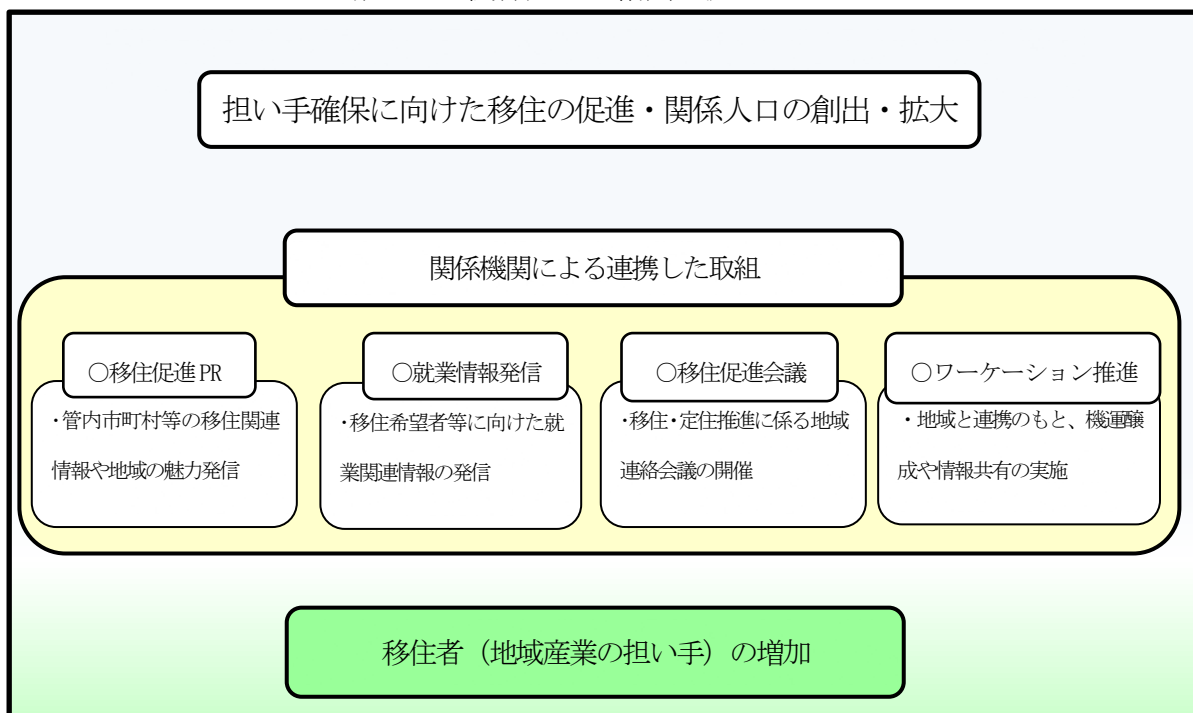
## ■ 地域連携による人材確保等の取組の推進

- 業界・企業・行政が連携した人材確保対策の検討
- 高校生の地域定着に向けた就業支援や情報発信
- 産学官金<sup>※</sup>連携によるトライアルワーク事業の推進
- 外国人材受入のための環境整備
- 中小企業の円滑な事業承継の促進



## ■ 担い手確保に向けた移住の促進及び関係人口<sup>\*</sup>の創出・拡大

- 移住関連情報の発信や地域の魅力PR
- 移住希望者向け就業関連情報の発信
- 関係機関との連携による移住促進会議等の開催
- ワーケーション<sup>\*</sup>の推進など関係人口の創出・拡大



### 関連する主な基盤整備

- 公立学校施設の整備

### 関連するSDGsの目標



# 上川地域の強みを活かした農林業振興プロジェクト

【推進エリア】上川地域

【主な実施主体】国、道、試験研究機関、大学、市町村、民間

## 目的

多種多様な農畜産物が生産される上川地域の農業においては、低コスト・省力化に向けた取組を進めるとともに、良食味米<sup>※</sup>をはじめとした高品質で安全・安心な農畜産物の生産を推進します。

また、全道で最も広い森林面積を擁する当地域においては、認証を取得した森林から産出される木材を、林業・木材産業関係者が連携しながら地域内で利用する取組を促進し、豊かな森林資源の循環利用を推進します。

こうした取組のほか、農林産物を利用した6次産業化<sup>※</sup>や農商工連携<sup>※</sup>による付加価値の向上に向けた取組を進めるとともに、幅広い世代への食農教育<sup>※</sup>や農村ツーリズム<sup>※</sup>の推進など、地域が有する豊かな資源を活かし、上川地域の基幹産業である農林業の持続的な発展を図ります。

## 施策展開

- 【施策】
- 農業生産の低コスト・省力化と農畜産物の高付加価値化等の推進
  - 適切な森林づくりと森林認証材の利用拡大の推進
  - 農商工連携による地場産品の高付加価値化や販路拡大

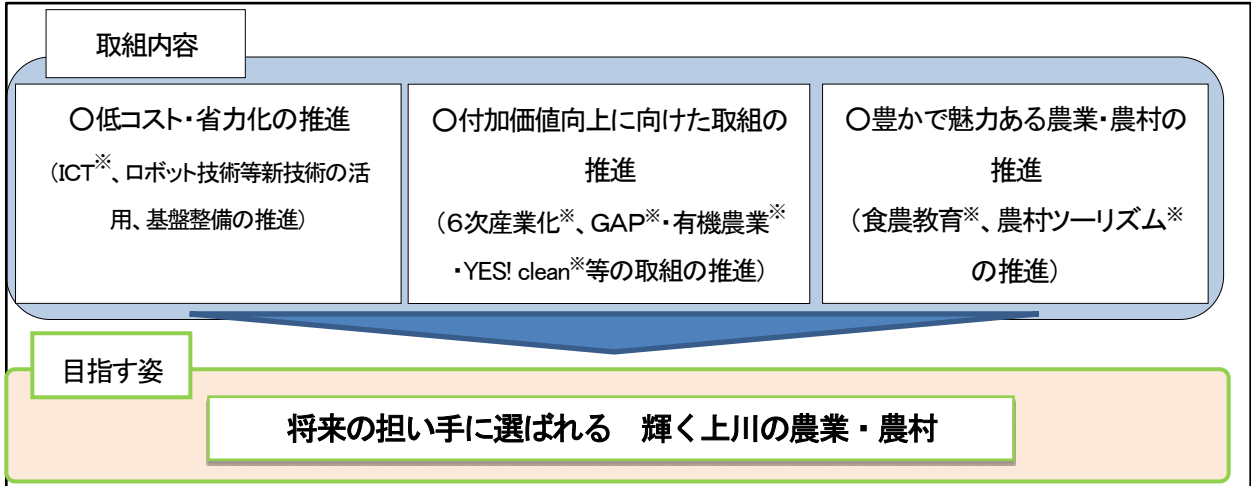
### <プロジェクトの重要業績評価指標（KPI<sup>※</sup>）>

- 省力化等による主要農作物作付面積の維持      79,857ha (R1) → 79,000ha (R6)
- 上川地域の木材・木製品出荷額      20,834 百万円 (H30) → 23,760 百万円 (R6)
- 食品工業の付加価値額      258 億円 (H30) → 310 億円 (R6)

<施策毎の主な取組方向>

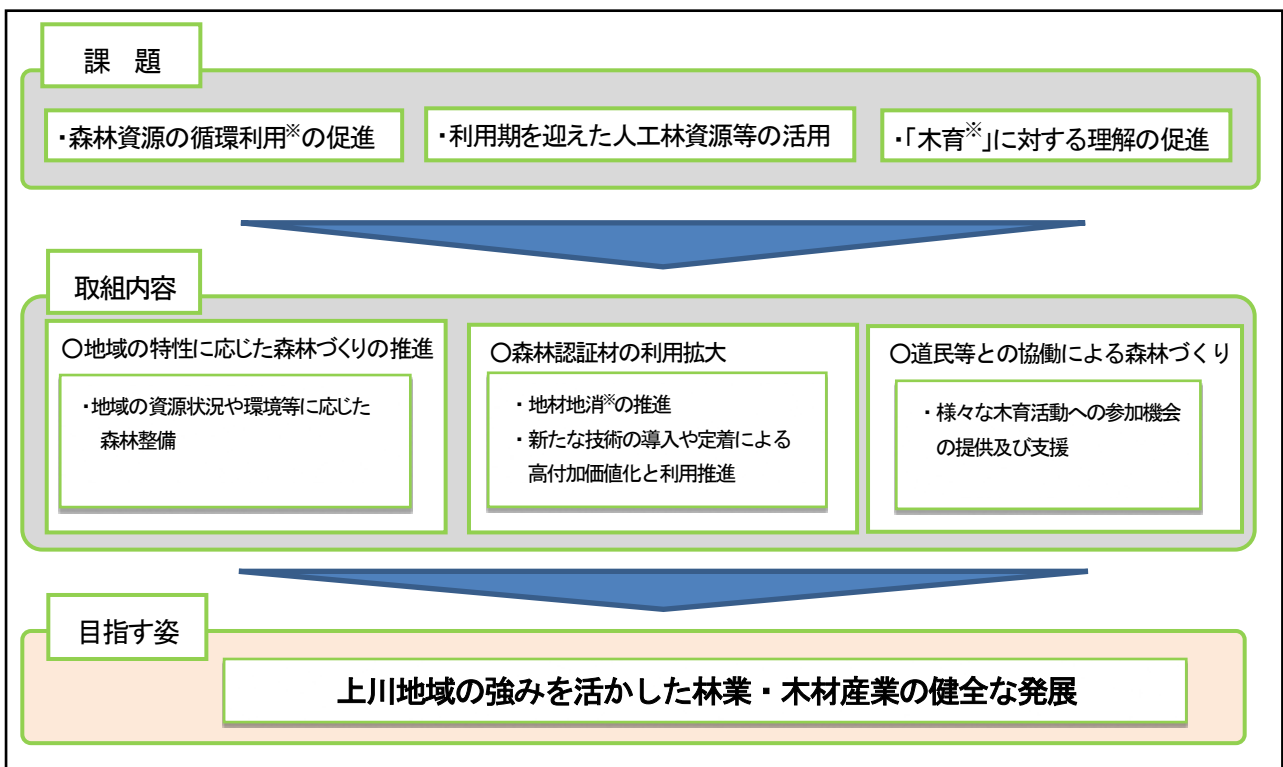
■ 農業生産の低コスト・省力化と農畜産物の高付加価値化等の推進

- 地域の実情に応じた低コスト・省力化の推進
- 付加価値向上に向けた取組の推進
- 豊かで魅力ある農業・農村の確立



■ 適切な森林づくりと森林認証材の利用拡大の推進

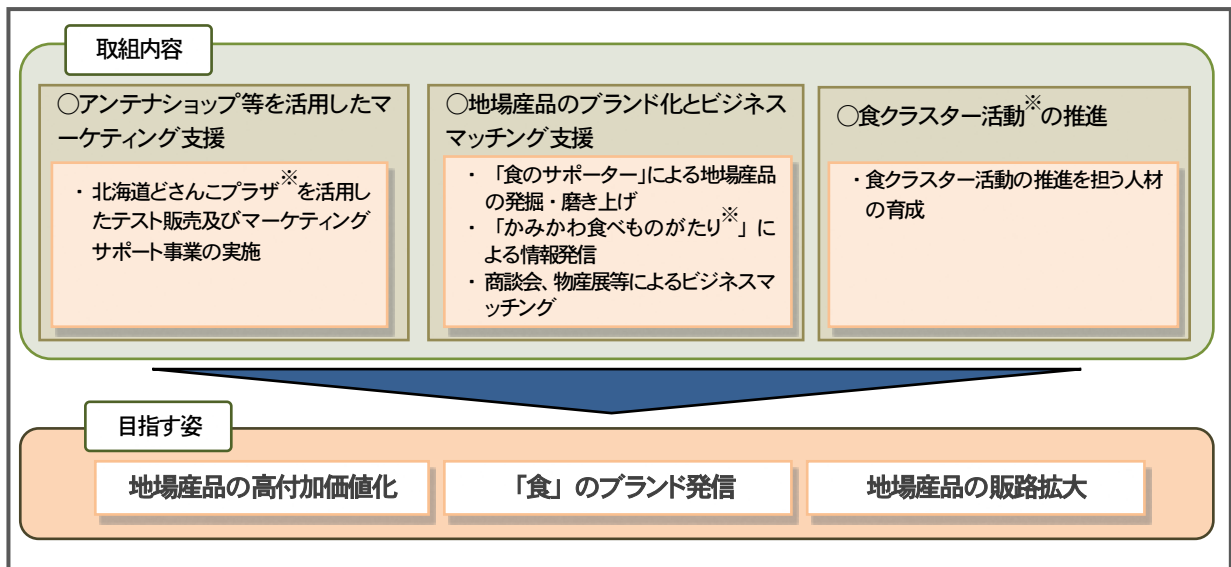
- 地域の特性に応じた森林づくりの推進
- 地域の特色を活かした森林認証材の利用促進
- 道民や企業等との協働による森林づくり





■ 農商工連携※による地場産品の高付加価値化や販路拡大

- アンテナショップ等を活用したマーケティング※支援
- 地場産品のブランド化とビジネスマッチング支援
- 食クラスター※活動の推進



関連する主な基盤整備

- 農畜産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備
  - ・農業生産基盤の整備推進
- 健全な森林の整備と保全の促進
  - ・森林及び路網の整備促進
  - ・山地災害を防ぐ治山施設の整備
- 物流ネットワーク形成のための道路網の整備
  - ・高規格道路と一体となった道路の整備
  - ・空港、港湾などの物流拠点やICへのアクセス道路の整備
- 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備
  - ・観光拠点へのアクセス道路の整備
- 自然豊かな水辺環境の整備・保全
  - ・河道の連続性に配慮した砂防施設の整備
  - ・良好な水辺環境の保全・創出を推進

関連するSDGsの目標



# 人と自然をつなぐ大雪山魅力発信プロジェクト

【推進エリア】上川地域

【主な実施主体】国、道、市町村、民間

## 目 的

上川地域は、全国から登山客が訪れる大雪山連峰等を擁しており、これまでも自然豊かな大雪山の魅力を発信するとともに、大雪山の恵みである清らかな水や豊富な農作物、素晴らしい景観などを活かし、地域のイメージアップに取り組んできたところです。

しかしながら、近年、中高年を中心とした登山ブームの中でのオーバーユース<sup>※</sup>による登山道の荒廃や山岳トイレ問題、さらにこれらに端を発する貴重な高山植物の減少などの問題が顕著となってきました。

このような状況を踏まえ、大雪山の貴重な自然を守り次世代に引き継ぐため、官民協働型の登山道管理を進めるための事業を展開するほか、観光地域づくりの根幹を担う民間団体や関係市町村とも連携しながら、まだ知られていない大雪山の観光資源などの魅力発信を進めます。

## 施策展開

- 【施策】 ■ 魅力的な自然環境の保全・活用  
■ 大雪山の恵みを活かした地域の魅力発信

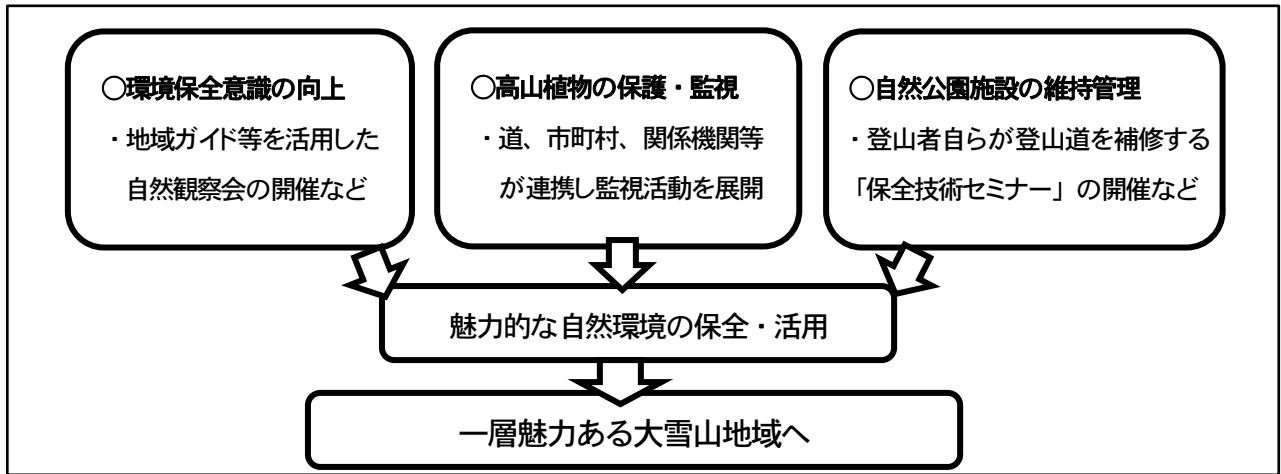
### 〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI<sup>※</sup>）〉

○登山道補修イベント参加人数	40人（H31）	→	70人（R6）
○観光入込客数	1,904万人（R1）	→	2,110万人（R7）

<施策毎の主な取組方向>

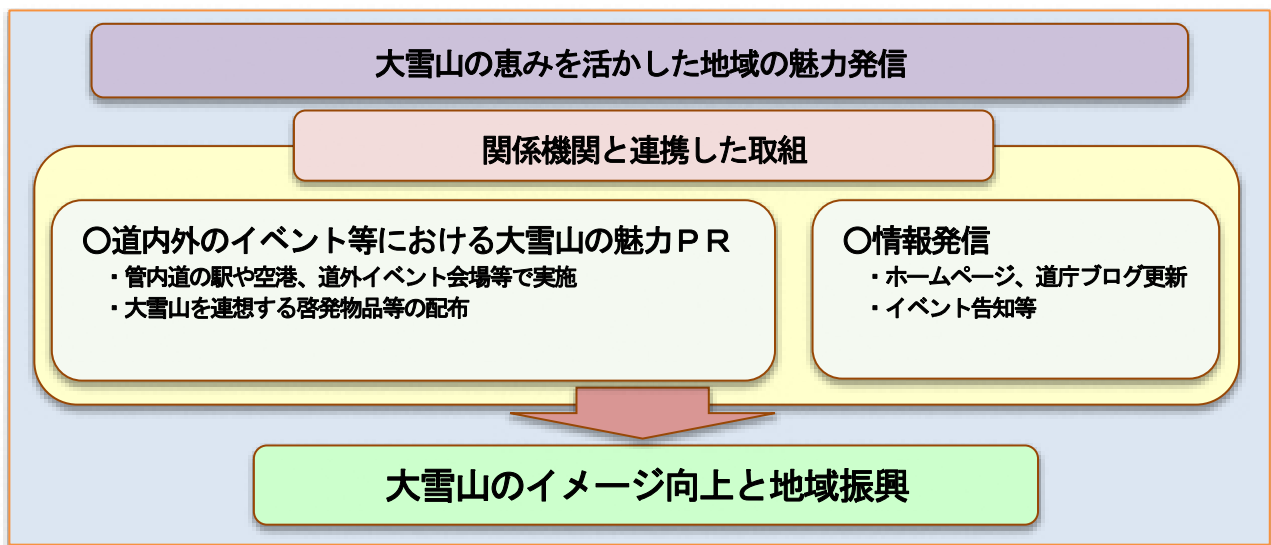
■ 魅力的な自然環境の保全・活用

- 高山植物保護のためのパトロール
- 官民協働型の自然公園施設維持管理



■ 大雪山の恵みを活かした地域の魅力発信

- 道内外のイベント等における大雪山の魅力PR
- 大雪山周辺地域のイメージアップ及び周遊促進に向けた情報発信



関連する主な基盤整備

- 自然豊かな水辺環境の整備・保全
  - ・河道の連続性に配慮した砂防施設の整備
  - ・良好な水辺環境の保全・創出を推進
- 高規格道路の整備
- 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備
  - ・観光拠点へのアクセス道路の整備

関連するSDGsの目標

